

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特別保育事業等推進施設の助成	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度	担当課室	保育課	橋本 泰宏			
会計区分	年金特別会計 (子どものための金銭の給付勘定)	施策名	Ⅲ-1-3 就学前児童の保育ニーズに対応した保育サービスを確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	子育て支援事業等助成費の国庫補助について (厚生事務次官通知 平6.8.22厚生省発児第137号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会福祉法人等が設置・運営する保育所が、延長保育や一時保育などの特別保育事業等を実施するために必要な施設の改修等の経費に対し助成を行うことにより、児童の健全育成及び福祉の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	延長保育や一時保育などの特別保育事業等を推進するために行う建物や、設備の整備及び備品等の購入に要する経費の助成を行う。 対象者: 保育所を運営する社会福祉法人等 実施主体: 財団法人こども未来財団						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	当初予算	86	86	86	86	86	
	補正予算						
	繰越し等						
	計	86	86	86	86		
	執行額	85	86	86			
執行率(%)		98.8%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、施設の改修等の経費に対し必要な助成を行うものであり、成果目標を示すものではない。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実施箇所数	活動実績 (当初見込み)	か所	126	139 (115)	135 (115)	- (115)
		算出根拠	H22年度確定額(90,886千円) / H22年度助成施設数(139か所)				
単位当たりコスト	654千円/1か所						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	特別保育事業等推進施設助成事業費	86	86	-			
	計	86	86				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業の目的である児童の健全育成及び福祉の向上を図ることは重要であり、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	需要の増加する特別保育事業等を全国的に推進するため国の補助事業としている。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業を実施することも未来財団は、育児及び児童の健全育成に寄与することを法人目的としており、事業主団体や民間企業などと連携しつつ、拠出者へ還元的意義を有する児童育成事業を行ってきた実績を有しており、児童の育成に幅広い知識と経験を有する唯一の法人であることから、こども未来財団を選定している。 こども未来財団は、事業の実施に関してHP等を通じて広く募集し、当該事業の基準に該当しているか審査した上で事業を実施しており、事業実施先の選定は適切に行われている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事業実績等を踏まえ、必要経費の見直しを行っている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	補助率は定額(3/4相当)であり、1/4相当は設置者負担としている。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	事業主体からの助成申請書の内容に沿った支出となっており、資金の流れは合理的なものとなっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	補助対象経費は事業実施に必要な経費のみとしている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業は全国規模で実施されており、実行性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	特別保育事業等を推進するために行った建物や設備の整備及び備品等の購入により、適切な事業実施が可能となっており、児童の健全育成及び福祉の向上が図られている。
点検結果	当該事業について、各点検項目による評価も概ね妥当と考えられる。よって今後も適切な執行に努めてまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	858	平成23年行政事業レビュー	0765

※平成23年度実績を記入

厚生労働省 86百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定等 〕



【補助】

A 財団法人 こども未来財団 86百万円

(内訳)
社会福祉法人等に対する助成費 86百万円

〔 助成申請書の内容審査、助成決定等 〕



【補助】

B 社会福祉法人等(135) 85百万円

(内訳)
社会福祉法人 133法人 84百万円
財団法人 2法人 0.8百万円

〔 特別保育事業等推進施設の助成事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.財団法人こども未来財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成費	保育所を運営する社会福祉法人等に対する、工事費、備品購入費等	86			
計		86	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人こども未来財団	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	86		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会福祉法人静修会静修保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
2	社会福祉法人さくら会桜保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
3	社会福祉法人宮城厚生福祉会下馬みどり保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
4	社会福祉法人慈量福祉会布川保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
5	社会福祉法人若葉福祉会若葉保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
6	社会福祉法人恵明会風の森保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
7	社会福祉法人長渚保育園長渚保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
8	社会福祉法人鳳凰児童福祉会高岡保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
9	社会福祉法人こばと福祉会こばと第二保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		
10	社会福祉法人和進奉仕会和進館保育園	特別保育事業を行うための改修等に必要経費	0.8		